

国際商工会議所、「ロシア連邦における知的財産の促進と保護」と題する報告書を公表

2012年10月28日
JETRO デュッセルドルフ事務所

国際商工会議所（ICC: International Chamber of Commerce）は、10月22日、「ロシア連邦における知的財産の促進と保護（Promoting and Protecting Intellectual Property in the Russian Federation）」と題する報告書を公表した。

本報告書は、ICC の模倣品および海賊版対策のためのイニシアチブである BASCAP（Business Action to Stop Counterfeiting and Piracy）およびロシアの150以上の企業によって構成される RUSBRAND（ロシアブランド製品製造者連盟）の連名によって作成されたもの。ICC のプレスリリースによると、同日モスクワで行われた模倣品対策国際フォーラム 2012 において、BASCAP の会長を務めるジェフリー・ハーディー氏が、本報告書の結論をロシアのメドヴェージェフ首相に提示した。メドヴェージェフ首相は「ICC の提言は、ロシア連邦においてなされるべきことの優先項目に沿ったものであり、興味深く読んだ。」と述べている。

本報告書は、ロシアが2012年8月22日に世界貿易機関（WTO）に加盟したことに触れ、これによって、ロシアが知的財産のエンフォースメント制度を幅広く改善する契機になるとしている。そして、主要な小売製品のうち24%が模倣品であって、2009年のロシアにおける小売利益の約6%に相当する9,100億ルーブル（275億ドル）の損失が生じているとの分析を行った上で、知的財産制度の更なる発展がロシアの経済成長にもたらすとして、ロシアの法制面および政策面からの提言を行っている。提言の概要は次のとおり。

<法制面の提言>

- ・民事のエンフォースメント手続きにおける不備への対処
- ・行政機関でのエンフォースメント手続きの改善
- ・インターネット上の侵害に対する法的措置の改善
- ・刑事の知的財産法および手続きにおける不備への対処
- ・並行取引(parallel trade)についての税関でのエンフォースメント能力の強化
- ・ロシア、カザフスタンおよびベラルーシの税関同盟(Customs Union)における税関でのエンフォースメント能力の強化

<政策面の提言>

- ・模倣品および海賊版に対処する際の、行政、司法および税関を含むエンフォースメント機関の間での協力の改善
- ・ロシアの政府機関、権利者団体およびその他の利害関係者の間での効果的な対話およ

び協力の確立

- ・ 知財関連の行政および技術的な能力構築の強化
- ・ 模倣品および海賊版，またそれに関連する経済的および社会的な悪影響についての政策立案者および公衆の認識向上

— プレスリリースは，以下参照 —

[IP Protection key to economic development and growth in Russia, ICC BASCAP warns leaders](#)

— 報告書の本文は，以下参照 —

[Promoting and Protecting Intellectual Property in the Russian Federation \(PDF\)](#)

(以上)